

～支えあう 住みよい社会 地域から～

民児協だより



KANAGAWA



…まなざし… 身近な民生委員・児童委員をめざして

5月、大井町民児協では活動強化週間に向けて、また、一斉改選の年でもあることから、私たちの活動を広く知っていただけるようにポスターを制作しました。

これまで、町の広報紙に活動内容を掲載しPRしてきましたが、私たちがどのような活動をしているのか、まだ知らない方もいます。

そこで、発案した通信員と役員、有志の委員が集まり、「みんぴょん」のパンフレットを参考に、お子さんが

ら高齢の方まで多くの方に見ていただけるように、ポスターの色や文字の大きさなどを話し合い、思いを込めて作りました。

できあがったポスターは町の保健福祉センターと生涯学習センターに展示しました。

町民の皆さんにとって、身近な「民生委員児童委員」をめざして、私たちは、今日も笑顔で活動しています。

(大井町民生委員児童委員協議会)



No.
162
2025.9
秋

神奈川県民児協設立50周年
記念キャラクター「みんぴょん」

特
集

①みなさんにとって、
どんな3年間でしたか

②県民児協 助成事業のご紹介

●通信員だより(鎌倉市・清川村・真鶴町)

特集

みなさんにとって、どんな3年間でしたか

令和4年12月～令和7年11月までの3年間、県民児協を支えてくださいました
正副会長のみなさん。

みなさんと過ごした3年間で、また次の3年間に繋いでいくことができるよう、
ここに綴ってくださった「想い」を大事にしていきます。



会長 三背 壽則（藤沢市）



県民児協会長として過ごした3年間はどうでしたか

“まずは基本の仲間づくり”と思い、多くの方へ挨拶と声掛けをしてきたことを覚えています。民生委員の仕事以外にも、外部団体への参加をさせていただきました。初めて知った団体もあり、経験と勉強の毎日でした。忙しいと言えばそれまでですが、楽しいこともあり、思い出深いあつという間の3年間でした。



これからに向けてメッセージをお願いします

県民児協は市町村会長一人ひとりのご意見で成り立っています。

多くの地区会長とは総会のみでしかお会いすることができませんが、ブロック会議等を通じて、理事等へご意見をいただければ、より良い県民児協運営ができると思います。

新たに役員になられた方々にも、ご自身の意見や他委員の意見を代弁していただければ、事務局と相談の上、参考にさせていただきます。

副会長 白井 幸江（横須賀市）



県民児協副会長として過ごした3年間はどうでしたか

正直に申し上げまして、“とにかく大変でした”の一言に尽きると思います。

民生委員歴だけは10期と長いものの、県民児協への参加は新人でしたので、そのプレッシャーは大変なものでした。しかし市町村民児協会長の皆様のやさしさや事務局の方々の細やかなご配慮に支えられ3年間で過ごすことができました。この経験は「支援される側」の気持ちに気づかせていただいたことでもあります。ただ感謝です。



これからに向けてメッセージをお願いします

高齢化社会到来の布石として平成12年に始まった介護保険制度は、民生委員活動を「待ちから攻め」へと転換させました。また名誉職からボランティアとなったことで、より地域の中に入りやすくなり、そして「気づく・つなぐ・見守る」の素晴らしいスローガンが生まれました。コロナ禍は再び民生委員の活動に変化をもたらしていますが、決して無理をせず自分に合った活動を心掛け、息の長い地域の支援者になってください。

副会長 小原 公一（平塚市）



県民児協副会長として過ごした3年間はどうか

先ず、第一に多くの他地域の人々と知り合いになれたことに御礼申し上げます。
 県民児協の副会長にご指名頂いたことで、県社協の監事を担うこととなり、理事会、評議員会に出席しなければならないことは、日程調整含め、大変でした。
 一方、県および横須賀市の児童相談所長との懇談会や、県行政との意見交換会は有意義であったと思います。
 色々と経験させて頂いたことに感謝申し上げ、結びの言葉に代えさせていただきます。



これからに向けてメッセージをお願いします

県民児協の役員となって感じたことは、県域内でもかなり違いがあるということです。
 先ず、事務局が、行政が行っている民児協と社協が行っている民児協があることに驚きました。又、活動費についても市町村によってバラバラで、統一性がないことは課題であると感じます。
 地域における課題も多様かと思えます。一人で抱え込まず、他委員と想いを共有しながら、委員活動に取り組んでいけたらと思います。

副会長 ニノ宮 要子（綾瀬市）



県民児協副会長として過ごした3年間はどうか

まさか私が県の役員になるなんて夢にも思っていませんでした。1年目は何も分からず、三回に一度回って来る議事進行は自分でも褒められるものではありませんでしたが、2年、3年と経験するうち、ようやく要領を得、何とか勤める事が出来ました。
 「井の中の蛙大海を知らず」、「されど空の深さを知る」、思いきって大海に出て得た経験は、私にとって貴重な財産になりました。
 御協力いただいた、常任理事・理事の皆様ありがとうございました。



これからに向けてメッセージをお願いします

県民児協に関わる様になって、地区民児協を支える様々な取り組みがなされていることを知りました。県域の30市町村をまとめる苦労はあると思いますが、それぞれの活動の様子や悩み等を取り上げ、話しあっても良かったのでは？と感じました。
 私達民生委員は、地域で信頼されることが何よりも強みとなります。「地域に根ざした思いやり」を原点とした活動が、いずれは「やりがい」に繋がるのではと思います。



みなさんの民生委員活動への想いが
 この3年間で充実したものとしてくださいました。
 共に歩んでいただきましたことを
 心よりお礼申し上げます。

県民児協 助成事業のご紹介

県民児協では、民生委員・児童委員のみなさんの活動を支えるための助成事業を実施しています。

ここでは、令和6年度の取り組みをご報告しながら、それぞれの助成事業についてご紹介いたします。より充実した民生委員・児童委員活動となるよう、ぜひご活用ください。



① 地域福祉活動促進費

活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進を目的としています。

② 指定地区民生委員児童委員協議会への助成

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて、民生委員・児童委員活動の活性化を図ることを目的に、2地区を指定しそれぞれに活動費を助成しています。

③ 民生委員児童委員活動推進事業

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、市町村民児協を指定し、経費を助成しています。

令和6年度の取り組み内容

地域名	事業名
海老名市中央地区民児協	民生委員児童委員活動推進事業(PRチラシの作成)
海老名市南部地区民児協	海老名市南部地区民児協及び茅ヶ崎市松林地区民児協情報交換会
茅ヶ崎市松林地区民児協	茅ヶ崎市松林地区及び海老名市南部地区民児協交流会
伊勢原市民児協	伊勢原市民生委員児童委員全体研修会
鎌倉市第十地区民児協	「命の大切さを知る紙芝居」の製作
茅ヶ崎市民児協	茅ヶ崎市民児協及び小田原市民児協交流会
小田原市民児協	小田原市民児協及び茅ヶ崎市民児協交流会
綾瀬市民児協	災害対策関連事業(災害対応に係る資料の作成・配布)
座間市民児協	民生委員活動PR(懸垂幕の作成)

事業内容として、県内(政令市を除く)のブロックを超えた他市町村地区民児協間、または県外の市町村地区民児協間での情報交換や学習会や、子育て支援や児童健全育成事業など児童委員・主任児童委員の活動内容を充実する事業など、全8事業あります。お気軽にご相談ください!



④ブロック活動にかかる助成金

各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などに対し、その活動費経費の助成を行っています。事業に際しては、3つの共通課題のいずれかに沿った活動を実施していただきます。

(1) 持続可能な委員活動(制度)のための取り組み

(2) 災害に備える民生委員・児童委員活動

(3) 児童委員と主任児童委員等との連携による子ども・子育て世帯への支援

令和6年度は、全体会議のほか、守秘義務・個人情報保護をテーマにした研修、また、ほとんどのブ

「こんな取り組みをしてみたい」「この事業についてもっと知りたい」等、遠慮なく、県民児協事務局までお問い合わせください!



ロックで災害関連の研修実施がありました。

⑤ 民生委員児童委員に伴う保険加入促進助成

地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成しました。

⑥ 地域版活動強化方策の策定支援

各地区民児協が計画的にアドバタイザーや外部講師の助言・指導を受けるための経費を助成する事業です。

令和6年度の活動内容は、県民児協ホームページからもご確認いただけます。下記、二次元コードよりご確認ください。

資料は「令和6年度事業報告並びに収入支出決算報告書」です。



二次元コード

みなさんのご意見をお寄せください!

県民児協公式キャラクター「みんぴょん」は県民児協設立50周年を記念して誕生しました(誕生日:平成31年3月29日)。

みんぴょんは、これからの50年を担う子どもたちにも、民生委員・児童委員のことを知ってもらいたいという強い想いから、子どもたちにも親しみやすいやさぎをモチーフとしています。

県民児協では、広報活動等の際に、より多くの方にみんぴょんを活用していただけるよう、みんぴょんデザインのバリエーションを増やしていくことを検討中です。

「こんなデザインがあったら嬉しいな」「こんな場面でみんぴょんを活用したいな」等、ぜひみなさんのお声を県民児協事務局までお寄せください!お待ちしております!



ご意見のお寄せ方法: Googleフォームからの回答もしくは県民児協事務局へのご連絡

Googleフォームからの回答



二次元コード

URL: <https://forms.gle/6QxpXGmdEJh76jop6>

県民児協事務局

TEL: 045-534-5812

メール: kmjk@knsyk.jp



たくさんのご意見をお待ちしております!

NEWS&インフォメーション



令和7年度第85回関東ブロック 民生委員児童委員活動研究協議 会(埼玉県大会)の報告

7月10日(木)～11日(金)の2日間、埼玉県熊谷市の熊谷文化創造館と熊谷スポーツホテル&キングアンバサダーホテル熊谷で開催されました。1都10県8政令都市から参集し、神奈川県からは横浜市・川崎市・相模原市民児協から30名、神奈川県民児協から13名の計43名が参加しました。

1日目は、式典が信条朗読から始まり、主催者挨拶、来賓挨拶と続きました。全体会では前年度開催地の静岡県代表より概要報告があり、全国社会福祉協議会民生部長の平井康元氏より基調報告がありました。

休憩後、「生きているってシアワ

セ！」ガンに

なっても幸

せです」の

テーマのも

と、骨髓バン

ク創始者であ

る大谷貴子



大谷 貴子さん
【記念講演の様子】

氏の記念講演がありました。温かく力強い語りかけで、苦しいことがあっても常に前向きに考え行動し、実践する生き方のお話に勇気づけられました。続いてイクタファミリーバンド演奏、県立松山女子高等学校音楽部の合唱が行われ、庄巻の迫力でした。最後にバンドと合唱団と参加者が一つとなり「花咲く郷土」の大合唱で会場全体が一つになりました。

激しい雷雨で会場移動がだいぶ

遅れましたが、懇親会会場でおい

しい食事とともに情報交換がで

きました。



「イクタファミリーバンドシュークリームの演奏の様子」
ご家族によるバンドならではの、音色に優しさがありました。

(湯河原町民児協会長 布施谷日出二)

ここからは、大会2日目の分科会についてのご報告です。

本県においては、分科会テーマ1「委員活動の継続・定着に向けた環境づくり」民児協に求められる機能とは」の担当となり、報告者として大和市民児協の村上法芳会長にご協力をいただきました。



村上 法芳会長
【分科会報告の様子】

「民生委員が定着しにくい課題に 多方面から向き合う」

村上会長からは、民生委員が定着しにくい要因として、社会的要因と内部的要因の内容、更には要因に対する対策、併せて実践されている取り組みについてご報告をいただきました。

取り組みの一つとして、大和市民児協では令和5年9月に「活動記録記入の手引き」を作成しています。活動記録等報告書の事務処理について「複雑で難しい」という委員の声を受け、役員会プロジェクトを編成し作成に至りました(※費用は県民児協活動推進事業助成費を活用。本日よりP4～5参照)。

分科会テーマ

第1分科会

委員活動の継続・定着に向けた環境づくり～民児協に求められる機能とは～

第2分科会

「こどもまんなか社会」の実現に向けた地域づくりと委員活動

第3分科会

「地域共生社会の実現」に向けたネットワークづくりと連携・協働の強化

第4分科会

地域福祉の充実に向けた民児協の組織力向上と支援のあり方

分科会テーマは、全民児連から提示された「全国共通協議課題」1テーマ、及び「全国選択協議課題」から2テーマ、並びに開催地が独自に設定した1テーマの計4テーマを取り上げて実践報告が行われました。



「日頃から無理をしない・させない 会長としての意識」

村上会長は報告の中で、「民生委員は使命感のために頑張りすぎてしまう。日頃から無理をしない・させないことを意識している。」とお話くださいました。

また、新任の民生委員の声を大事にし、どんどん新しい意見を取り入れること、個人の得意分野を活かした役割分担を行うことを意識しているとのこと、全員が「この地区の民生委員の一員である」ことを認識できる取り組みであると感じます。

「現任の委員を大切にすること」も、定着に向けた大切な視点であることを改めて今回教えていただきました。



令和7年度（第85回）
関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
大会参加者
【みなさん2日間お疲れ様でした】

令和7年度 第1回 単位民児協会長研修会の報告

6月30日（月）に『「おひとりさま」高齢者を地域で支えるために』をテーマとして、研修会を実施しました。

これまでの社会では当然のように考えられてきた「家族による支援」は、家族関係の変化等を背景に変わってきており、特に身元保証や死後の事務に関する課題は、既存のサービスだけでは対応できない「狭間の課題」となっています。民生委員の皆さんも、施設入所の際の保証人や、救急車への同乗を求められたこと等があるのではないのでしょうか。この課題に対して、今年度より国の動きも急加速しています。

そこで、今回の研修では、弁護士の内嶋順一さんをお招きし、「おひとりさま」高齢者の実情や課題についてお話しいただきました。

統計から
見えてくる
高齢独居世帯の状況として、本県
における高齢独居等の世帯割合の推移予想、全国的に高齢者の直面している状況や、そのことに伴う困り



内嶋 順一さん

ごと、また、それを支援する制度についてわかりやすくご講義いただきました。

今後に向けた仕組みづくりが各地域で求められる一方で、制度が充実しても、高齢者本人が制度を利用する意思を持たなければ繋がることは難しいというお話もありました。

また、この課題への働きかけとして、南足柄市社会福祉協議会では先駆的に取り組みを進めており、「狭間の課題」に対する支援である「アンカーサポート事業」をはじめて3年が経過しました。

そこで事業開始当初より関わっている南足柄市社会福祉協議会職員の平川恵理子さん、南足柄市の民生委員である石橋誠市さんにも報告者として登壇いただき、研修後半には3人のセッションを行いました。



左:石橋 誠市さん
右:平川 恵理子さん

民生委員の声と共に創り上げてきたアンカーサポート事業。事業開始から3年が経過する中で見えてきた課題に対して、今後も地域住民や関係機関・団体の声を聴きながら、一人ひとりに寄り添い、向き合

い続ける支援が展開され、南足柄市における権利擁護支援が推進されることを願います。

「死後」と聞くと、後ろ向きイメージがありますが、自身のこれまでを振り返り、これからどんな風に過ごしていきたいかを考えるきっかけにも繋がると考えています。この「狭間の課題」に対して、民生委員ができることを引き続き一緒に考えていきましょう。

手持ち旗を制作しました！

関東ブロックや全国大会等の際により効率的に民生委員の皆さんが行動していただけるよう、県民児協として手持ち旗を作成しました。一目でわかるようにシンプル、かつ県民児協キャラクターである「みんぴょん」の愛らしさが伝わるように意識して作成しました。



初デビューは
9/3-9/5の全国大会
でした！



通信員だより



鎌倉市

なり手を増やす取り組み

通信員 大崎 美紀雄

鎌倉市では民生委員・児童委員の定数に対して数名の欠員があり、なり手を増やす為の取り組みを行う必要がありました。

取り組みとして、民児協・地区社協・自治町内会・福祉関係者の6名と事務局で構成されたなり手を増やすワーキンググループを立ち上げました。

民生委員・児童委員の選出をする時に、活動内容が解り難い、民生委員は大変な仕事と思われているなどの課題が見つかり、その点を少しでも改善する取り組みとして民生委員児童委員の活動を、基本活動と自主活動(主なもの)に整理しました。

その他の取り組み

市の「広報かまくら(令和7年2月号)」に民生委員児童委員活動の特集記事が掲載された他、鎌倉エフエムに民生委員が出演し活動内容について説明しました。また研究部会の協力のもと、民生委員児童委員活動を紹介するため、明るいイラストを取り入れたリーフレットを作成し、民生委員のイメージアップを目指しました。この取り組みを継続して、民生委員・児童委員をより多くの方に知ってもらえればと思います。



清川村

敬老会での見守り

通信員 岩澤 正信

村の令和7年7月末現在の高齢化率は39.8%と少子高齢化が非常に速いスピードで進んでいます。

高齢化率の上昇により、民生委員児童委員としての活動は高齢者の見守りが中心となつてきています。

活動の1つに75歳以上の高齢者に敬老会の案内状と敬老祝品をお届けしています。

私が担当している地区では68名の方がおり、普段様子の見られない方も案内状を渡しながら様子を知ることが出来ます。中には自分の顔を知らない方もいられるので、何かあったら連絡をくださいと伝え、顔を覚えていただけることに、暑い中でも気持ちも前向きになれます。

敬老会の当日は、卒寿や米寿などでお祝いを受ける方の受付を私たちが担当して行っています。

自分の地域の方が受付にお見えになると非常に嬉しい気持ちになります。

このような村からの配布物の他、個別訪問やサロン活動への参加など、一つひとつの小さな見守りが敬老会にえられる方の笑顔につながっていると考えています。



受付をする民児協各委員

真鶴町

地域住民の見守り
(スクールバス)

通信員 織壁 志郎

平成17年3月に岩小小学校が廃校となり、同年4月より真鶴小学校と共に「まなづる小学校」として統合し、現在に至っています。

それに伴いスクールバスが運行されることとなりました。そのスクールバスの目的は、主として、遠距離通学を行う児童への支援です。公共交通機関の不十分な地方、農村地帯では有効な手段として役立ちます。子どもたちは乗車すると、「マナー」としてシートベルトは必ず着けましょう」「バスが動き出したら立ったり大声を出したりしないようにしましょう」「バスの中にはゴミを捨てないようにしましょう」「先生やバスの運転手さんの指示に従いバスを汚したりしないようにしましょう」等の注意事項を守りながら乗り降りをしています。他方、民生委員等の高齢化により、通学路の安全確保のための人材確保が難しくなっており、保護者や地域住民の人たちの見守る力を上げる必要があります。登下校中の児童が標的となる犯罪は後を絶ちません。その危険箇所を取り除くことによる先生や地域の人々からの登下校のこれからの協力により交通指導や、不審者に対する声掛けを行い、子どもたちの安全確保に努めていきます。



ホームページをご活用ください！

☆県民児協ホームページでは、民生委員・児童委員制度や活動に関する参考資料などを掲載しています。委員専用ページをご覧ください。次のログイン情報をご入力ください。

